



平成26年度第2回(通算153回) 技術情報交換会のご案内

平成26年度第2回技術情報交換会を下記により開催致します。第1回において欧米で航空機、自動車応用を中心に、アウトオブオートクレーブ(OoA)、VaRTMなど複合材料成形技術の革新が進んでいる状況を紹介して頂きました。これを受けて今回は複合材料成形技術をテーマとし、国内におけるOoA、VaRTM等の開発状況、新しい熱可塑性プリプレグなどについてご紹介を頂きます。会員の皆様の多数の出席をお願い致します。

記

1. 日 時:平成26年9月25日(木) 13:00~19:00
2. 会 場:東京大学 山上会館 大会議室
会場までのアクセスについては次ページの案内地図をご参照下さい。
3. 参加費:正会員・賛助会員:8,000 円、学生会員:4,000 円、非会員:11,000 円
参加費は参加申込時に『三菱東京 UFJ 銀行 鎌倉支店(普)1276101 先端材料技術協会』に振込料自己負担でお振込戴くか当日会場受付でお受け致します。
4. 参加申込:別添の申込用紙に所要事項をご記入の上、メールあるいは FAX にて協会事務局にお送り下さい。
定員は 80 名ですのでご確認は下記宛にご連絡下さい。

Tel: 03-5981-9824、Fax:03-5981-9852、E-mail:g001sentan-mng@ml.gakkai.ne.jp



【プログラム】

13:00～14:00 「JAXA における OoA プリプレグ、VaRTM ハイブリッド成形について」

(独)宇宙航空研究開発機構 航空本部

複合材料技術センター研究計画マネージャ 杉本 直 様

JAXA 複合材料技術センターで実施してきた、プリプレグ(OoA)と VaRTM を組み合わせたハイブリッド成形による航空機胴体デモンストレータ、小型航空機スピードブレーキとその飛行試験などを紹介する。

14:00～14:40 「日本飛行機の VaRTM 技術」

日本飛行機(株)航空宇宙機器事業部

技術部 航空設計課 参事 福岡 照城 様

航空機部品に VaRTM 製法を適用することで、従来プリプレグ/オートクレーブ製法に対し重量及びコストで有利になると考えられている。日本飛行機での VaRTM の研究試作例を紹介する。

14:40～15:10 休憩

15:10～15:50 「熱可塑性プリプレグ材「8exe(エイテックス)」について」

丸八株式会社 常務

菅原 寿秀 様

丸八製熱可塑性プリプレグ材「8exe」の材料形態ラインアップとその成形加工法への対応、低比重 CFRTP 材などの新規開発商品、および CFRTP 成形品の機械的特性評価について紹介する。

15:50～16:30 「連続繊維熱可塑性材料とハイブリッド 60 秒成形」

サンワトレーディング(株) 社長

馬場 俊一 様

Tepex は、連続繊維に熱可塑性樹脂を完全に含浸させたシート(CFRTP, GFRTP)である。シートを3次元に曲げリブやボスを one step で同じ金型内でハイブリッド成形する技術が注目されている。欧米では、自動車、スマートフォン、航空機のインテリア、スポーツ用品等に採用されている。ハイブリッド成形用の樹脂 Durethan についても紹介する。

17:00～19:00

懇親会

山上会館地下1階 食堂にて

講師、参加者相互の情報交換の場としてご活用下さい。



Society for the Advancement of Material and Process Engineering

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 1-24-1 第2ユニオンビル4F (株) ガリレオ内 先端材料技術協会
Tel:03-5981-9824 Fax:03-5981-9852 E-mail:g001sentan-mng@ml.gakkai.ne.jp URL:www.sampejapan.gr.jp

会場へのアクセス:

